―わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い―

ミュージアム都留からのお知らせ

収蔵資料展『郷土の画家展―花鳥画を中心に―』7月1日(日)まで

田中蘭谷

本名は田中峰治。明治17年(1884年)千葉県生まれ。美術関係の学校を卒業して、甲府の中学校へ就職した。米山朴庵に弟子入りし、谷村の下町・仲町の絹問屋で、※絵甲斐絹の下絵を描きつつ絵の修業に励んだ。朴庵の死後、藤井霞郷の紹介で、小室翠雲の門下に入った。

昭和5年(1930年)、日本南画院展覧会と第11回帝展に入選、以後各展覧会で入選を重ねた。このころから東京の画室と谷村を行き来して生活をするようになり、昭和16年(1941年)、再婚を機に東京に転居した。戦争末期には一時谷村へ疎開するが、終戦後再び上京し、妻とともにマーケットを経営しながら画業に専念した。

昭和34年(1959年)7月7日、大阪の長女宅で死去。享年75歳。

※絵甲斐絹

生地に直接描いたり、あらかじめ糸を染色しておいてから織るなどして、絹織物の表面に絵柄を表したもの。羽織の裏地などに使われた。

玉堂春富貴

次回企画展のお知らせ

夏休み子ども企画展

今年は汽車や電車など鉄道に関する展示会を行います。都留市の鉄道のルーツである馬車鉄道やリニアモーターカーなど都留市の鉄道史についての紹介や体験学習をしながら楽しく学ぶことができる展示会です。また、展示期間中は工作教室や関連イベントなど楽しいイベントも開催します。ぜひお越しください。

なお、富士馬車鉄道(テト馬車)や鉄道に関する資料(古い切手、電車の模型など)を探しています。お持ちの方はミュージアム都留までご連絡ください。

展示期間　7月21日(土)～8月19日(日)

休館日　月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館)、第3火曜日、祝日の翌日

観覧料　一般　300円(210円)
高・大学生　200円(140円)
小・中学生　100円(70円)
※(　)内は20名以上の団体料金
※チケットは増田誠美術館と共通券となっています。

問合先　ミュージアム都留　☎(45)8008

勝山城のなぞに迫る！

今回は勝山城跡学術調査で焦点になった道の問題に迫りたいと思います。勝山城周辺を取り巻く道は、いつの時代から存在していたのかなどはよく分かっていなかったため、先月の5月10日に調査を実施しました。その結果、十日市場から川棚へ続き、さらに金井に抜けるルートが明らかになりました。この道がいつの時代に造られたのかは明確になっていませんが、江戸時代の絵図や明治時代の地形図で確認できました。十日市場はその名の通り中世に市場が存在したとされる地で、道はそこから勝山城のある川棚を通り、さらに小山田氏の館の推定地である金井に出てくるという、とても興味深い結果になりました。

このことについては、今後の研究対象の1つとしてさらに調査を進めていきたいと考えています。

増田誠美術館
増田誠が描いた山　開催中！

会　期　6月17日(日)まで
開館時間　午前9時～午後4時30分
会　場　増田誠美術館(ふるさと会館2階)
休館日　月曜日、第3火曜日、祝日の翌日

次回企画展のお知らせ

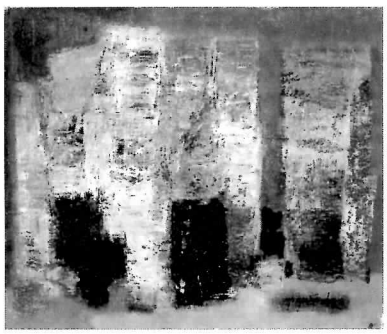
La vie de Paris「増田誠が描く街」

会　期　6月23日(土)～9月23日(日)

増田画伯が描いたパリの街を紹介します。画伯が描く様々な街の風景をお楽しみください。

作品の紹介

街並みを深く透明感のある色面で処理し、反面、画伯の特色である線描が見られません。いわゆる半具象・半抽象の作品で、増田画伯がフランスへ渡り、画家として出発した記念碑的作品です。



街(パリ)　1950年代